

今や世界が解決すべき最大のテーマ `CO2削減`の切り札

「セルロース」由来のバイオエタノールは環境にもベスト

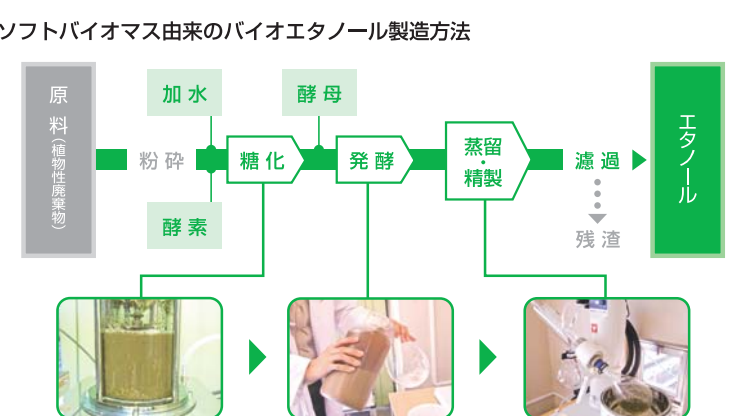
バイオエタノール生産過程全体を通して、通常廃棄される植物を使用し、約八千万トン程度の、小規模な工場での生産が可能。自然エネルギーで効果、エネルギー生産率、バイオエタノール由来の廃棄物をエタノール化して、燃焼によるCO2削減の効果を高める。これは当然のように廃棄物として燃やされて捨てられています。

■特長について

従来の製造方法との違い

- ① 食品を用いない。
- ② 糖化効率の良い原料(ソフトバイオマス)を使用。
- ③ 特殊な酵素を用いて効率よく、かつ環境に優しいエネルギー生産を行う。

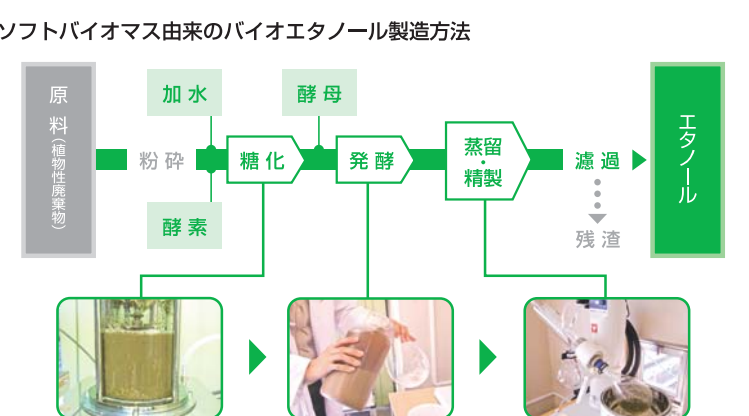
ソフトバイオマス由来のバイオエタノール製造方法



ギン生産を原料に地元のゴルフ場で行うという。毎日刈り込まれる芝、刈り取った芝、湖に落ちた藻、湖の中で増えた藻、剪定枝や落ち葉。これらは当然のように廃棄物として燃やされて捨てられています。

バイオエタノール生産過程全体を通して、通常廃棄される植物を使用し、約八千万トン程度の、小規模な工場での生産が可能。自然エネルギーで効果、エネルギー生産率、バイオエタノール由来の廃棄物をエタノール化して、燃焼によるCO2削減の効果を高める。これは当然のように廃棄物として燃やされて捨てられています。

ソフトバイオマス由来のバイオエタノール製造方法



ギン生産を原料に地元のゴルフ場で行うという。毎日刈り込まれる芝、刈り取った芝、湖に落ちた藻、湖の中で増えた藻、剪定枝や落ち葉。これらは当然のように廃棄物として燃やされて捨てられています。

セルロース由来のバイオエタノール

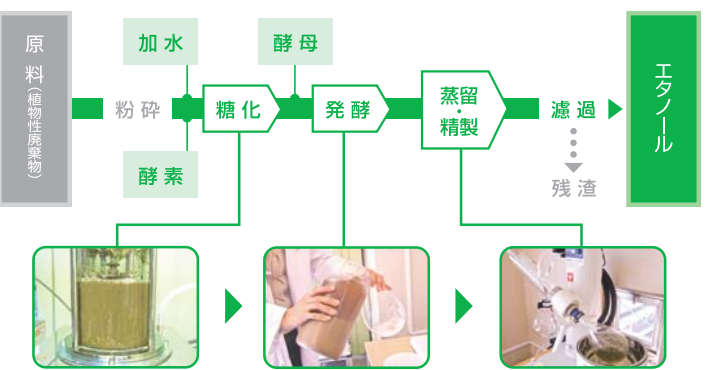
ゴルフ場で毎日刈り込まれる芝、刈り取った芝、湖に落ちた藻、湖の中で増えた藻、剪定枝や落ち葉。これらは当然のように廃棄物として燃やされて捨てられています。

■特長について

従来の製造方法との違い

- ① 食品を用いない。
- ② 糖化効率の良い原料(ソフトバイオマス)を使用。
- ③ 特殊な酵素を用いて効率よく、かつ環境に優しいエネルギー生産を行う。

ソフトバイオマス由来のバイオエタノール製造方法

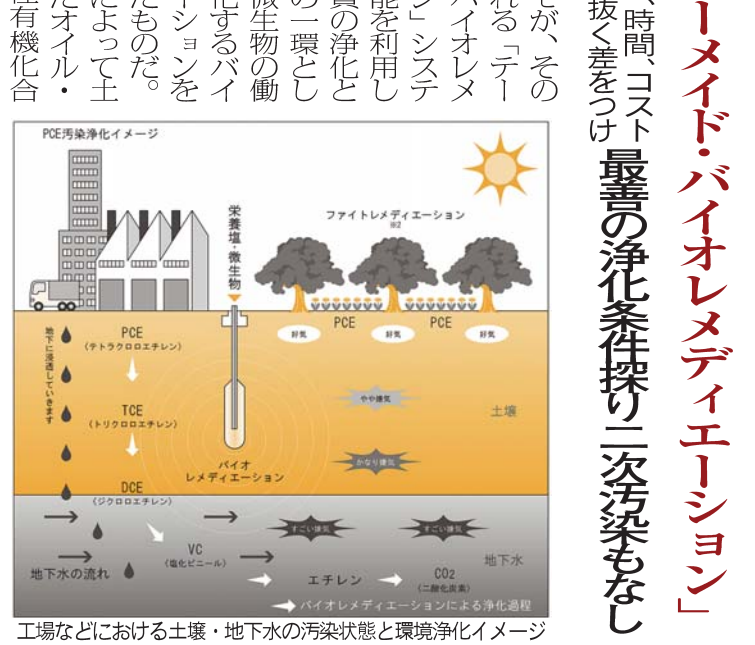


ギン生産を原料に地元のゴルフ場で行うという。毎日刈り込まれる芝、刈り取った芝、湖に落ちた藻、湖の中で増えた藻、剪定枝や落ち葉。これらは当然のように廃棄物として燃やされて捨てられています。

バイオエタノール生産過程全体を通して、通常廃棄される植物を使用し、約八千万トン程度の、小規模な工場での生産が可能。自然エネルギーで効果、エネルギー生産率、バイオエタノール由来の廃棄物をエタノール化して、燃焼によるCO2削減の効果を高める。これは当然のように廃棄物として燃やされて捨てられています。

「テラライメッド・バイオレメディエーション」

効率、時間、コスト、暑の浄化を繰り返す二次汚染もなし



バイオエタノール生産過程全体を通して、通常廃棄される植物を使用し、約八千万トン程度の、小規模な工場での生産が可能。自然エネルギーで効果、エネルギー生産率、バイオエタノール由来の廃棄物をエタノール化して、燃焼によるCO2削減の効果を高める。これは当然のように廃棄物として燃やされて捨てられています。

湖国の環境、願い 西村建設の新会社 (株)マザーコスモが21世紀のバイオ牽引



湖国、滋賀で堅実な地歩を築く西村建設(山崎敏夫社長)と、真・滋賀県湖南市中央3丁目12番地が、この三月から「環境・福祉・文化」の三つの柱を企業コンセプトに、新たに立ち上げた新会社「(株)マザーコスモ」(山崎敏夫代表取締役)が、特に環境部門において力を注いでいる。バイオエタノール事業で、西日本総代理店(近畿以西、沖縄まで含む)としての役割を担うこととして、各方面で大きな注目を集めている。

マザーコスモは、当初からその経営理念として、『健康で豊かな生活を営むためには、地域や地球の美しい自然に恵まれた環境が必要であると考え、地域や地球をできるだけ健全な状態で次世代に引き継ぐ事を責務に、事業活動を通して環境の維持、改善に積極的に取り組み、環境保全型社会を築くために考え行動すること』を謳っている。

「環境保全型社会の構築」を目指す

とりわけ具体的な取り組みでは、「土壌が持っている治癒力を信じ、自然の力で浄化するように促す」をポリシーに、土壌中の微生物から汚染物質のみを分解する微生物のみを算出させ、浄化活動を促進(バイオレメディエーション)。また、微生物のみならず、浄化能力のある植物や樹木を植え(ファイトレメディエーション)、自然の治癒力をかりた環境浄化などを行っている。

小規模の「エタノールプラント」はまさに地産地消の地ビール。の発想だ

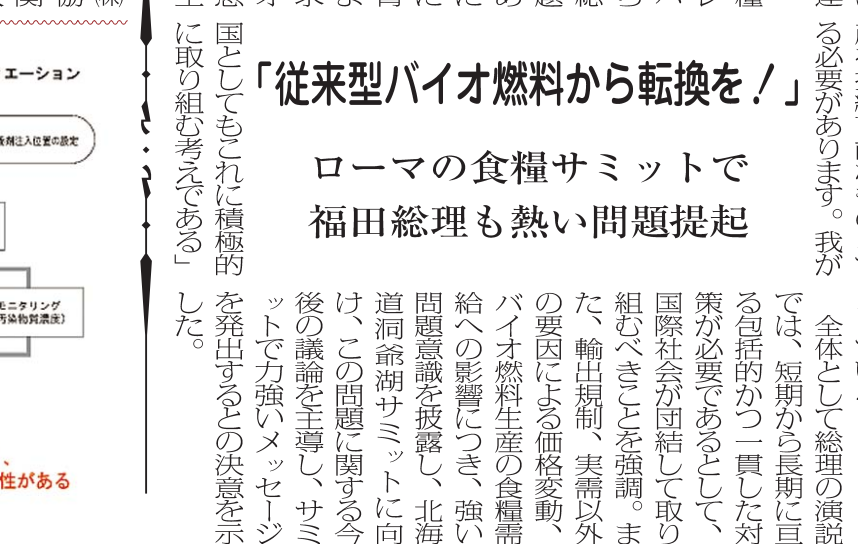
料政策小委員会が二〇〇三年にエタノールは「理は、食糧価格騰貴問題が深刻な世界的問題である」として、自動車用にも安全なバイオ燃料の生産を奨励している。このほか、バイオエタノール製造で出る残渣を、原料を食糧作物に求めない第一世代のバイオ燃料の研究と利用化を急ぐこととして、その生に取組みをすすめている。

去る六月三・五日に産持続可能なものとする。ローマで行われた、国連の必要があります。我が食糧農業機関(FAO)主催による「世界の食糧安全確保に関するハイレベル会合」が、気候変動とバイオエタノールがもたらす課題の中で、福田総

「従来型バイオ燃料から転換を！」

ローマの食糧サミットで 福田総理も熱い問題提起

全体として総理の演説では、短期から長期に亘る包括的かつ一貫した対策が必要であるとして、国際社会が団結して取り組むべきことを強調。また、輸出規制、実需以外の要因による価格変動、バイオ燃料生産の食糧供給への影響につき、強い問題意識を披露し、北海道洞爺湖サミットに向けて、この問題に関する今後の議論を主導し、サミットで力強いメッセージを発信するとの決意を示した。



今秋の実証プロジェクト 09年11月には地元で実用プラント

今秋の実証プロジェクト。09年11月には地元で実用プラント。バイオエタノール生産過程全体を通して、通常廃棄される植物を使用し、約八千万トン程度の、小規模な工場での生産が可能。自然エネルギーで効果、エネルギー生産率、バイオエタノール由来の廃棄物をエタノール化して、燃焼によるCO2削減の効果を高める。これは当然のように廃棄物として燃やされて捨てられています。

「(株)マザーコスモのビジネスパートナー」

NPO法人岐阜大学環境技術研究会
西村建設(株)
コンティグ・アイ
トゥービー(株)
大橋建設(株)
日本グリーン

本紙で紹介した製品への問い合わせ先は次の通りです。
(株)マザーコスモ
〒520-3234 滋賀県湖南市中央3丁目12番地
TEL 0748-72-1525
FAX 0748-72-7320
URL <http://www.mother-cosmo.jp>
E-mail info@mother-cosmo.jp



植物性廃棄物からバイオエタノールを造ります。

刈り芝や雑草、剪定枝、藻や水草、トウモロコシの芯やサトウキビの搾りかす、米の粉がらや藁、又、食品加工工場から出る廃棄物等は数え上げたら切りがありません。植物性廃棄物の再資源化によりカーボンニュートラルなエネルギー源を得ることができ、CO2削減に貢献することができます。私たちはいつも地球の理想的な環境について考えています。

www.mother-cosmo.jp
お問合せはホームページで

西日本総代理店
株式会社マザーコスモ
MOTHER COSMO CO.,LTD.
〒520-3234 滋賀県湖南市中央3丁目12番地
TEL0748-72-1525 FAX 0748-72-7320
E-mail info@mother-cosmo.jp

研究開発元/(株)コンティグ・アイ
岐阜県岐阜市正木631番地7 TEL058-294-8091

製造販売元/トゥービー株式会社
三重県亀山市住山町大掛588-3 TEL0595-82-5454